



KENGO HOME PROJECT

- 人生を、このまちとともに、もう一度 -



**FUKUYAMA CITY
FOOTBALL CLUB**

人生を、このまちとともに、もう一度

一度は現役引退を経験し、
13年ぶりに生まれ故郷・福山へ戻ったサッカー選手・高田健吾が、

「人生をもう一度この街で懸ける」ことを決めたその場所から、
今、人生のどこかで立ち止まっている子どもたちと一緒に前へ、上へ進んでいくプロジェクトです。

怪我、挫折、迷い、不安。

人生が止まったように感じる瞬間は、人それぞれ違います。
このプロジェクトは「支援する側」と「支援される側」ではなく、
同じ目線で、同じ方向を向いて歩く関係性を大切にします。



FOR THIS CITY

このまちと、ともに

高田 健吾 KENGO Takata

プロフィール

生年月日 1989年8月24日
出身 広島県福山市
ポジション DF



経歴

福山FC／ジェフユナイテッド市原・千葉U-18／ジェフユナイテッド市原・千葉（J1）／レノファ山口（JFL）／MIOびわこ滋賀（JFL）／原田鋼業FC／福山シティFC



プレイヤーズストーリーはこちら ▶▶



高田健吾は、福山市で生まれ育ち、中学卒業と同時に千葉ジェフユナイテッド市原・千葉のユースに進み、トップチームへ昇格。レノファ山口FCなど、Jリーグの舞台でプレーを続けてきました。しかし、一度は現役引退を経験し、サッカー人生に区切りをつけた選手でもあります。

2015年、13年ぶりに地元福山へ戻り、「生まれ故郷に自分の経験を還元したい」という思いを抱きながらも、その糸口を見つられずにいました。

そんな中で出会ったのが、福山シティFCでした。何度も足を運び、何度も言葉をかけてくれたクラブ代表の熱意、そして「この街でサッカーの未来をつくる」というビジョンに、もう一度、人生を懸ける決断をします。

ベテランと呼ばれる年齢になった今も、サッカーにワクワクし、ドキドキしている。それは、「福山で、福山のために、人生をかけてサッカーができています」という実感があるからです。

KENGO HOME PROJECT は、一度は人生が止まった男が、再び立ち上がった“ホーム”から、今、立ち止まっている子どもたちに会いに行くプロジェクトです。





人生が止まったように感じている子どもたちに「**自分だけじゃない**」と感じてもらうこと

01



完全な解決ではなく「**次の一歩**」を一緒に考える時間をつくること

02



高田健吾自身の人生と挑戦を、子どもたちの**未来につなげて**いくこと

03

■ 対象

福山・備後エリアを中心とした小学生～高校生で、以下のいずれかに当てはまる子どもたち。

- ・ 怪我や病気で競技を離れている
- ・ 結果が出ず、自信を失っている
- ・ 続けるか、やめるかで悩んでいる
- ・ 環境の変化（進学・転校・チーム移籍）に不安を感じている
- ・ 「もう一度挑戦したいけど、怖い」と感じている

共通点はただ一つ。「前に進みたい気持ちは、まだ消えていない」こと。

■ トーク・交流イベント



■ 小中学校への訪問・キャラバン



■ 相談・伴走プログラム



■ ピッチ内への招待企画（再会）



このプロジェクトは、
怪我を治すためのものではありません。
人生を変える魔法でもありません。

ただ、「この街で、もう一度挑戦している大人がいる」
その事実を、必要としている子どもたちのもとへ届ける。

そしていつか、立ち止まっていた子どもたちが前へ進み、スタジアム
で再会し、また次の誰かの背中を押す存在になる。
KENGO HOME PROJECT は、福山シティFCがこの街の“ホーム”とし
て在り続けるための、象徴的なプロジェクトです。

出会う・対話

次の一歩



次の誰かへ

スタジアムでの再会

